

## 8月季節の便り



### カイツブリ親子：

修景池では今年は繁殖なしとの話でしたが、葦が広がり見通しが悪くなり見つからなかったようです。

雛が3羽の証拠写真的なものは撮れましたが、親が背中に乗せて運ぶ写真は、今年はだれも撮っていません。

### オオシオカラトンボ：

野鳥が出てこないなので、代わりに撮りました。



### ヒヨドリ幼鳥：

ヒヨドリはおなじみの野鳥ですが、皆さんあまり幼鳥の写真を撮っていません。この幼鳥は何回も来てはいるのですが、漸くおすおすと水浴びを始めました。嘴の根元がまだ白く顔つきも幼さを感じさせます。

### メジロ・ヤマガラ：

今場の側にある止まり木でのツーショット。

左のメジロは before 水浴びでまだすっきりとした姿、右のヤマガラは after 水浴びでびしょびしょです。







### セミ・アブラゼミ：

あちこちの木にセミの抜け殻がくっついており、このアブラゼミは羽化をして木に止まっていたましたが、だんだんと茶色が濃くなり 30 分後に飛んで行きました。

鳴き声はミンミンゼミの方が早くから鳴いていたようです。



### コジュケイ・子育て：

←ここでの今年のトップニュースとなるでしょう。広場に出てきた一家ですが、親鳥(こちら向きが母親)はあたりを警戒しています。雛鳥は生後 10 数日と思われます。

雛鳥も親の真似をして砂浴びをするようになりました。見張っているのは母親。



親鳥と並んで水を飲もうとしています。雛鳥の左はみで、右は♀のようです。雛鳥もずいぶん大きくなって黄色っぽかった頭が灰色になり、俊敏な動作で 3m 位飛び上がって木の枝に止まれるようにもなって、猫に襲われてももう大丈夫ではないかとみんなで話しています。

